

---

12月9日（水） 19:00～21:30

## 【テーマ】ものづくり&地域づくり

### 【タイトル】

石見銀山大森町 ～群言堂が考えるサステイナブルな地域づくり～

### 【概要／狙い】

「群言堂（ぐんげんどう）」は「株式会社石見銀山生活文化研究所」が展開するライフスタイルブランドです。

世界遺産登録された石見銀山遺跡のお膝元、人口400人の島根県大田市大森町に根を下ろし、手仕事が美しい服や古民家再生など、持続可能な衣・食・住・美の文化を伝えています。

群言堂は、衣類を中心に日本の古き良き生活文化から学ぶ、根のある暮らしを提案しています。時代に合わせて新しいモノやコトを創り出す「復古創新（ふっこそうしん）」という考え方をベースにして、暮らしを第一に考え、日本の技術を活かしたものづくりに取り組んでいます。

2016年11月、ユネスコ初のESD（持続可能な開発のための教育）専門家会議が大森町で開催されました。

それから3年後の2019年3月、その次の取り組みとして、「第1回ユネスコESDリーダーシップシンポジウム」が大森町で開催され、アジアを中心に8ヶ国から教育部門のリーダーが集まり、大森町の持続可能な取り組みを視察・議論されました。

参照：[ユネスコリーダーシップシンポジウム、ブータン教育大臣のインタビュー動画](#)

「日本の地方で持続可能な生き方を学ぶ」という世界規模のテーマに大森町は選ばれており、群言堂は持続可能なものづくりから地域づくりを推進しています。

---

本講義では、群言堂が考えるサステイナブルなものづくりの考え方と取り組みを学び、サステイナブルな地域づくりのあり方や作り方について考え、議論します。

### 【場所】

オンライン (Zoom)

### 【講師】

松場 忠 / 株式会社石見銀山群言堂グループ 取締役

### 【課題図書】

『世間遺産放浪記』

著者：藤田 洋三 (石風社)

### 【参考サイト】

[群言堂のホームページ](#)

[石見銀山・大森町のホームページ](#)

### 【参考写真】

